学科目標と授業時間数一覧

年　度	学　科　名	学年	担　任　名		
令和5年度	美容総合学科	2年	久川　理香		

学科概略	高度な知識と即戦力となる技術を習得し、美容業界に貢献できる高い意識をもった人材を養成する学科である。国家資格である美容師免許取得はもとより、社会人としての人間力や常識を備えた次世代を担う技術者を養成する。 コース選択制導入を最大限活かし多角的に美容業界で活躍できる人材を育てる。
到達目標	・挨拶、返事など基本的行動の徹底 ・美容師国家試験合格 ・自から考え、行動し、自立する ・各種検定・コンペディション入賞
目標へ対しての具体的取組	1）学外実習を行い、接客マナー、ビジネスマインドをはじめ、社会に通用する基本的マナーを身につける。 2）美容師としての基礎的な技術や、理論をその度チェックや補習を行い理解、習得していく。 3）感性、創造性を培うために外部へのイベントに積極的に参加し、「本物」の情報収集、提供をしていく。

授　業　時　間　数　及　び　区　分

	科　目　名	担　当　教　員		授業時間数 前期	授業時間数 後期	年間授業時間数	授業区分①	授業区分②	授業方法
1	関係法規・制度	宮上　知史	非常勤	11	0	11	必修	専門	講義
2	衛生管理	中村　光良	常勤	24	18	42	必修	専門	講義
3	保健	斧山　　睦	非常勤	28	14	42	必修	専門	講義
4	香粧品化学	久川　理香	常勤	14	8	22	必修	専門	講義
5	文化論	山﨑　紀代	非常勤	22	0	22	必修	専門	講義
6	美容技術理論	濵田　孝映	常勤	26	33	59	必修	専門	講義
7	運営管理	宮上　知史	非常勤	0	11	11	必修	専門	講義
8	美容実習	濵田・中村・久川	常勤	153	376	529	必修	専門	実習
9	接遇	西村　侑剛	非常勤	12	18	30	選択必修	一般	講義
10	美容総合技術	久川・濵田・中村・光富・山﨑・矢野・前田	常勤	175	131	306	選択必修	専門	実習
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
			合計時間数	465	609	1074			

許可なく複写複製することを禁じます　龍馬デザイン・ビューティ専門学校

学科目標と授業時間数一覧

年　度	学　科　名	学年	担　任　名		
令和5年度	美容総合学科 スタイリストコース	2年	久川　理香		

学科概略	高度な知識と即戦力となる技術を習得し、美容業界に貢献できる高い意識をもった人材を養成する学科である。国家資格である美容師免許取得はもとより、社会人としての人間力や常識を備えた次世代を担う技術者を養成する。 コース選択制導入を最大限活かし多角的に美容業界で活躍できる人材を育てる。
到達目標	・挨拶、返事など基本的行動の徹底 ・美容師国家試験合格 ・自から考え、行動し、自立する ・コンペディション入賞（ビューティーグランプリ2023、DesignersAwardフォトコンテスト）
目標へ対しての具体的取組	1）学外実習を行い、接客マナー、ビジネスマインドをはじめ、社会に通用する基本的マナーを身につける。 2）美容師としての基礎的な技術や、理論をその度チェックや補習を行い理解、習得していく。 3）感性、創造性を培うために外部へのイベントに積極的に参加し、「本物」の情報収集、提供をしていく。 4）コンテスト対応

授　業　時　間　数　及　び　区　分

	科　目　名	担　当　教　員		授業時間数 前期	授業時間数 後期	年間授業時間数	授業区分①	授業区分②	授業方法
1	関係法規・制度	宮上　知史	非常勤	11	0	11	必修	専門	講義
2	衛生管理	中村　光良	常勤	24	18	42	必修	専門	講義
3	保健	斧山　　睦	非常勤	28	14	42	必修	専門	講義
4	香粧品化学	久川　理香	常勤	14	8	22	必修	専門	講義
5	文化論	山﨑　紀代	非常勤	22	0	22	必修	専門	講義
6	美容技術理論	濵田　孝映	常勤	26	33	59	必修	専門	講義
7	運営管理	宮上　知史	非常勤	0	11	11	必修	専門	講義
8	美容実習	濵田・中村・久川	常勤	153	376	529	必修	専門	実習
9	接遇	西村　侑剛	非常勤	12	18	30	選択必修	一般	講義
10	美容総合技術　ヘッドスパ	濵田　孝映	常勤	28	32	60	選択必修	専門	実習
11	美容総合技術　アイラッシュ	光富　千尋	非常勤	33	0	33	選択必修	専門	実習
12	美容総合技術 ヘアデザイン	濵田・中村・久川・前田	常勤	114	63	177	選択必修	専門	実習
13	美容総合技術 ヘアセット	山﨑　紀代	非常勤	0	36	36	選択必修	専門	実習
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
			合計時間数	465	609	1074			

許可なく複写複製することを禁じます　龍馬デザイン・ビューティ専門学校

学科目標と授業時間数一覧

年　度	学　科　名	学年	担　任　名		
令和5年度	美容総合学科 ネイルコース	2年	久川　理香		

学科概略	高度な知識と即戦力となる技術を習得し、美容業界に貢献できる高い意識をもった人材を養成する学科である。国家資格である美容師免許取得はもとより、社会人としての人間力や常識を備えた次世代を担う技術者を養成する。 コース選択制導入を最大限活かし多角的に美容業界で活躍できる人材を育てる。
到達目標	・挨拶、返事など基本的行動の徹底 ・美容師国家試験合格 ・自からが考え、行動し、自立する ・JNECネイリスト技能検定検定、JNAジェルネイル技能検定上位検定取得・コンペディション入賞
目標へ対しての具体的取組	1）学外実習を行い、接客マナー、ビジネスマインドをはじめ、社会に通用する基本的マナーを身につける。 2）美容師としての基礎的な技術や、理論をその度チェックや補講を行い理解、習得していく。 3）感性、創造性を培うために外部へのイベントに積極的に参加し、「本物」の情報収集、提供をしていく。 4）検定対策

授　業　時　間　数　及　び　区　分

	科　目　名	担　当　教　員		授業時間数		年間授業時間数	授業区分①	授業区分②	授業方法
				前期	後期				
1	関係法規・制度	宮上　知史	非常勤	11	0	11	必修	専門	講義
2	衛生管理	中村　光良	常勤	24	18	42	必修	専門	講義
3	保健	斧山　　睦	非常勤	28	14	42	必修	専門	講義
4	香粧品化学	久川　理香	常勤	14	8	22	必修	専門	講義
5	文化論	山﨑　紀代	非常勤	22	0	22	必修	専門	講義
6	美容技術理論	濵田　孝映	常勤	26	33	59	必修	専門	講義
7	運営管理	宮上　知史	非常勤	0	11	11	必修	専門	講義
8	美容実習	濵田・中村・久川	常勤	153	376	529	必修	専門	実習
9	接遇	西村　侑剛	非常勤	12	18	30	選択必修	一般	講義
10	美容総合技術　ヘッドスパ	濵田　孝映	常勤	28	32	60	選択必修	専門	実習
11	美容総合技術　アイラッシュ	光富　千尋	非常勤	33	0	33	選択必修	専門	実習
12	美容総合技術 ネイルアドバンス	矢野　　愛	非常勤	114	99	213	選択必修	専門	実習
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
	合計時間数			465	609	1074			

許可なく複写複製することを禁じます　龍馬デザイン・ビューティ専門学校

学科目標と授業時間数一覧

年　度	学　科　名	学年	担　任　名		
令和5年度	美容総合学科 ビューティ＆ブライダルコース	2年	久川　理香		

学科概略	高度な知識と即戦力となる技術を習得し、美容業界に貢献できる高い意識をもった人材を養成する学科である。国家資格である美容師免許取得はもとより、社会人としての人間力や常識を備えた次世代を担う技術者を養成する。 コース選択制導入を最大限活かし多角的に美容業界で活躍できる人材を育てる。
到達目標	・挨拶、返事など基本的行動の徹底 ・美容師国家試験合格 ・自からが考え、行動し、自立する ・コンペディション入賞（LUXE BEAUTY 、アカシヘッドアート等フォトコンテスト）
目標へ対しての具体的取組	1）学外実習を行い、接客マナー、ビジネスマインドをはじめ、社会に通用する基本的マナーを身につける。 2）美容師としての基礎的な技術や、理論をその度チェックや補講を行い理解、習得していく。 3）感性、創造性を培うために外部へのイベントに積極的に参加し、「本物」の情報収集、提供をしていく。 4）コンテスト対応

授　業　時　間　数　及　び　区　分

	科　目　名	担　当　教　員		授業時間数 前期	授業時間数 後期	年間授業時間数	授業区分①	授業区分②	授業方法
1	関係法規・制度	宮上　知史	非常勤	11	0	11	必修	専門	講義
2	衛生管理	中村　光良	常勤	24	18	42	必修	専門	講義
3	保健	斧山　　睦	非常勤	28	14	42	必修	専門	講義
4	香粧品化学	久川　理香	常勤	14	8	22	必修	専門	講義
5	文化論	山﨑　紀代	非常勤	22	0	22	必修	専門	講義
6	美容技術理論	濵田　孝映	常勤	26	33	59	必修	専門	講義
7	運営管理	宮上　知史	非常勤	0	11	11	必修	専門	講義
8	美容実習	濵田・中村・久川	常勤	153	376	529	必修	専門	実習
9	接遇	西村　侑剛	非常勤	12	18	30	選択必修	一般	講義
10	美容総合技術　ヘッドスパ	濵田　孝映	常勤	28	32	60	選択必修	専門	実習
11	美容総合技術　アイラッシュ	光富　千尋	非常勤	33	0	33	選択必修	専門	実習
12	美容総合技術　エステティック	久川　理香	常勤	32	0	32	選択必修	専門	実習
13	美容総合技術 メイクアドバンス	山﨑　紀代	非常勤	80	69	149	選択必修	専門	実習
14	美容総合技術 ヘアセット	山﨑　紀代	非常勤	0	36	32	選択必修	専門	実習
15									
16									
17									
18									
19									
20									
			合計時間数	463	615	1074			

許可なく複写複製することを禁じます　龍馬デザイン・ビューティ専門学校

令和 ５ 年度 シラバス

授業科目	美容実習	単位／時間	528ｈ
開講学科等	美容総合学科２年	担当教員	吉村・中村・久川
授業の目的・テーマ	1年次に学んだ技術を再確認。国家試験（実技）の技術のテクニック、構成の理解。年末には全員決められたタイムに入るようにする。年明けは細かい技術を確実にマスターでき、国家試験（実技）合格を目指す。		
授業の到達目標	国家試験（実技・衛生）3課題を全員が合格できるようにする。		

授業の計画				
	1	１年次の復習	26	国試課題
	2	ワインディング、ウェーブ	27	国試課題
	3	ワインディング、カット	28	国試課題
	4	ワインディング、ウェーブ	29	国試課題
	5	ワインディング、カット	30	国試課題
	6	ワインディング、ウェーブ	31	国試課題
	7	ワインディング、ウェーブ	32	国試課題
	8	ワインディング、オールウェーブ	33	国試対策
	9	オールウェーブ	34	国試課題
	10	ビューティグランプリ対策	35	国試課題
	11	ワインディング千本巻き	36	国試課題
	12	ワインディング、ビューティーグランプリ	37	
	13	ワインディング、オールウェーブ	38	
	14	オールウェーブ、	39	
	15	ショー対策	40	
	16	ショー対策	41	
	17	ショー対策	42	
	18	ショー対策	43	
	19	ショー対策	44	
	20	ワインディング、カット	45	
	21	国師衛生説明　　国師衛生実践	46	
	22	国師衛生実践	47	
	23	オールウェーブ、カット	48	
	24	国試課題	49	
	25	国試課題　卒業基準試験	50	

授業の方法	講義・デモ・実習
テキスト/参考文献	国試テキスト・参考ウィッグ
評価の方法や基準	授業態度、技術力、試験成績など総合的に評価する。
実務経験のある教員による授業科目の場合、 右欄に〇を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する	〇
実務経験	10年間、美容師として勤務。龍馬デザインビューティ専門学校美容科教員として11年間勤務。
実務経験の活かし方	美容の教員の経験を活かし、学生一人一人苦手とする技術を把握し、合格できるよう対応する
履修上の注意事項	教材（ハサミetc）でのケガ。出席率90％

令和4年度　シラバス

授業科目	関係法規・制度	単位／時間	10
開講学科等	美容総合学科2年	担当教員	宮上知史
授業の目的・テーマ	1年に引き続き、美容業に関する関係法規・制度について正しい知識習得の必要性を理解させるとともに公衆衛生を担う社会的義務、職業倫理についても自覚を促す。美容師に関する規制内容を正確に理解させるとともに、衛生法規が美容業を行う場合の指針になることを理解させる。		
授業の到達目標	①法とは何かを理解する。②衛生行政の仕組みを理解する。③美容師、美容所に関する法規制を理解する。④美容業に関する法規について理解する。		

授業の計画				
	1	美容師法　復習（美容師）	26	
	2	美容師法　復習（美容所）	27	
	3	関連法規　運営に関する法律	28	
	4	関連法規　運営に関する法律	29	
	5	関連法規　衛生に関する法律	30	
	6	関連法規　衛生に関する法律	31	
	7	関連法規　消費者保護に関する法律	32	
	8	関連法規　消費者保護に関する法律	33	
	9	関係法規・制度問題演習	34	
	10	期末試験	35	
	11		36	
	12		37	
	13		38	
	14		39	
	15		40	
	16		41	
	17		42	
	18		43	
	19		44	
	20		45	
	21		46	
	22		47	
	23		48	
	24		49	
	25		50	

授業の方法	テキストを中心に、適宜プリント等を利用して講義する
テキスト/参考文献	公益社団法人　日本理容美容教育センター　関係法規・制度
評価の方法や基準	期末試験・レポート・出席・授業態度を総合的に評価する。
実務経験のある教員による授業科目の場合、 右欄に〇を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する	
実務経験	
実務経験の活かし方	
履修上の注意事項	

令和5年度　シラバス

授業科目	運営管理	単位／時間	10
開講学科等	美容総合学科２年	担当教員	宮上知史
授業の目的・テーマ	1年に引き続き、美容所の運営に欠かせない経営戦略、経営管理、労務管理など基本的な理論や事項を学び、健康管理についても考えられるようにする。		
授業の到達目標	経営の基礎を学び経営戦略や経営計画について理解する。会計の歴史、基本構造を学び会計が経営に役立つことを理解する。労務管理に関する法律や制度の概要を理解する。美容業などサービス業の特徴を理解する。		

授業の計画				
	1	1年の学習事項の復習・確認	26	
	2	1年の学習事項の復習・確認	27	
	3	人の役割　価値の多様性	28	
	4	サービスの範囲	29	
	5	サービス業のマーケティング	30	
	6	マーケティングミックス①	31	
	7	マーケティングミックス②	32	
	8	サービスにおける人の役割	33	
	9	運営管理　問題演習	34	
	10	期末試験	35	
	11		36	
	12		37	
	13		38	
	14		39	
	15		40	
	16		41	
	17		42	
	18		43	
	19		44	
	20		45	
	21		46	
	22		47	
	23		48	
	24		49	
	25		50	

授業の方法	テキスト、プリント、パソコンを利用しながら講義する。
テキスト/参考文献	公益社団法人　日本理容美容教育センター　運営管理
評価の方法や基準	期末試験・レポート・出席・授業態度を総合的に評価する。
実務経験のある教員による授業科目の場合、 右欄に〇を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する	
実務経験	
実務経験の活かし方	
履修上の注意事項	

令和5年度　シラバス

授業科目	衛生管理	単位／時間	42時間
開講学科等	美容総合学科２年	担当教員	中村　光良
授業の目的・テーマ	・美容業務と感染症予防、環境衛生の保持を重視し美容現場における衛生措置の重要性を理解させる		
授業の到達目標	・消毒法の技術、意義と原理を理解させ適当な実施方法を身につけさせる。 ・国試過去問の解答、解説が出来るようになる。		

授業の計画				
	1	人と感染症	26	各種消毒薬②
	2	感染症の分類①	27	理容所・美容所の消毒の実際
	3	感染症の分類②	28	理容所・美容所の消毒の実際
	4	感染症の分類③	29	理容所・美容所の清潔法の実際
	5	病原微生物①	30	理容所・美容所の清潔法の実際
	6	病原微生物②	31	
	7	感染症の予防	32	
	8	理容・美容と感染症	33	
	9	主な感染症①	34	
	10	主な感染症②	35	
	11	主な感染症③	36	
	12	消毒法とは	37	
	13	感染経路テスト	38	
	14	消毒の意義	39	
	15	消毒法の意義	40	
	16	感染症分類テスト	41	
	17	確認テスト	42	
	18	理容・美容の業務と消毒との関係	43	
	19	消毒法と適用上の注意	44	
	20	理学的消毒法	45	
	21	理学的消毒法	46	
	22	化学的消毒法	47	
	23	化学的消毒法	48	
	24	すぐれた消毒法とその実施上の注意	49	
	25	各種消毒薬①	50	

授業の方法	講義
テキスト/参考文献	教科書、ワークブック、過去問題
評価の方法や基準	提出物、試験成績、授業態度などによって総合的に評価する。
実務経験のある教員による授業科目の場合、 右欄に〇を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する	〇
実務経験	美容師としての実務経験、日本理容美容教育センター教員研修（衛生管理）受講済
実務経験の活かし方	美容室での消毒方法・感染症予防・衛生知識等
履修上の注意事項	

令和5年度　シラバス

授業科目	香粧品化学	単位／時間	22時間
開講学科等	美容総合学科2年	担当教員	久川　理香
授業の目的・テーマ	香粧品概論、原料、基礎・メイクアップ・頭皮毛髪用香粧品、芳香製品・特殊香粧品の基礎的・基本的な内容について復習し、国家試験に対応できる学力の育成を図る。		
授業の到達目標	・香粧品化学を理解し、美容に応用できる。 ・美容師国家試験合格		

授業の計画				
	1	6/1(木) 成分一覧表作成1ｈ	26	
	2	6/8(木) 成分一覧表作成1ｈ	27	
	3	6/15(木) 成分一覧表作成2ｈ	28	
	4	6/22(木) 界面活性剤まとめ2ｈ	29	
	5	6/22(木) パーマ剤まとめ2ｈ	30	
	6	6/29(木) ヘアカラー剤まとめ1ｈ	31	
	7	7/6(木) ヘアカラー剤まとめ1ｈ	32	
	8	7/13(木) 期末試験2ｈ	33	
	9	7/18（火）試験解説・ワークブック２ｈ7/20(木) ワークブック1ｈ	34	
	10	10/12（木）過去問対策①	35	
	11	10/19（木）過去問対策②	36	
	12	10/26（木）過去問対策③	37	
	13	11/2（木）過去問対策④	38	
	14	11/9（木）過去問対策⑤	39	
	15		40	
	16		41	
	17		42	
	18		43	
	19		44	
	20		45	
	21		46	
	22		47	
	23		48	
	24		49	
	25		50	

授業の方法	講義・パワーポイント・まとめプリント・小テスト
テキスト/参考文献	香粧品化学（日本理容美容教育センター）・化粧品成分表
評価の方法や基準	・授業態度（20）・試験（80）
実務経験のある教員による授業科目の場合、 右欄に〇を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する	
実務経験	
実務経験の活かし方	
履修上の注意事項	モニターの設置

令和 5 年度 シラバス

授業科目	保健	単位／時間	42時間
開講学科等	美容総合学科　2年	担当教員	斧山　睦
授業の目的・テーマ	皮膚、毛髪の仕組みについて詳細に学ぶ。第１篇、第２編を復習し再確認をする。		
授業の到達目標	皮膚、毛髪の仕組みについて学び、保護と予防を考える事ができる。国家試験過去問を確実に理解し解答解説が出来る。		

授業の計画				
	1	皮膚と付属器官の保健	26	
	2	皮膚と付属器官の保健	27	
	3	皮膚と付属器官の疾患	28	
	4	皮膚と付属器官の疾患	29	
	5	皮膚と付属器官の疾患	30	
	6	皮膚と付属器官の疾患	31	
	7	皮膚と付属器官の疾患	32	
	8	皮膚と付属器官の疾患	33	
	9	前期試験	34	
	10	第1編復習	35	
	11	第1編復習	36	
	12	第1編復習	37	
	13	第２編復習	38	
	14	第２編復習	39	
	15	第２編復習	40	
	16	後期試験	41	
	17	国試対策	42	
	18	国試対策	43	
	19	国試対策	44	
	20	国試対策	45	
	21	国試対策	46	
	22		47	
	23		48	
	24		49	
	25		50	

授業の方法	教科書を中心の座学
テキスト/参考文献	保健教科書、ワークブック、解剖生理学
評価の方法や基準	出席状況、提出物、試験成績、授業態度などにより評価
実務経験のある教員による授業科目の場合、 右欄に〇を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する	
実務経験	
実務経験の活かし方	
履修上の注意事項	

令和 5 年度 シラバス

授業科目	美容技術理論	単位／時間	59h
開講学科等	美容総合学科2年	担当教員	濵田　孝映
授業の目的・テーマ	多様化する美容の技術に対応するには、裏付けされた理論が求められる。科学的根拠や正しい裏づけを理解・学習し、技術の習得を容易にさせる。		
授業の到達目標	美容技術の基礎知識を理解させ、国家試験筆記を合格レベルにする。		

授業の計画				
	1	ヘアカラーの種類・タイプ別特徴・染毛のメカニズム	26	
	2	色の基本・パッチテスト・染毛使用時の注意事項	27	
	3	酸化染毛剤・酸性染毛料の技術手順	28	
	4	章テスト・エステティック概論	29	
	5	皮膚の生理と構造・カウンセリング	30	
	6	美容におけるマッサージ理論・フェイシャルケア技術・デコルテ	31	
	7	フェイシャルパック・ボディケア技術	32	
	8	章テスト・メイクアップ概論	33	
	9	期末試験	34	
	10	顔の形態学・メイクアップと色彩・メイクアップの道具・スキンケア・ベースメイク・アイメイク	35	
	11	アイブロウ・リップ・ブラッシュオン・まつ毛エクステンション	36	
	12	章テスト　　前期終了	37	
	13	日本髪の由来・各部の名称・種類と特徴調和・日本髪の装飾品	38	
	14	日本髪の結髪技術・かつら	39	
	15	着付けの目的・礼装・季節・着物のいろいろ・帯・小物	40	
	16	着物各部の名称・たたみ方・着付けの一般的要領・留袖	41	
	17	振袖・袴着付け技術・和装花嫁・洋装花嫁	42	
	18	国試対策	43	
	19	国試対策	44	
	20	国試対策	45	
	21	国試対策	46	
	22	国試対策	47	
	23		48	
	24		49	
	25		50	

授業の方法	教科書を中心に、パソコン・モニターを使用して講義する
テキスト/参考文献	美容技術理論１・２　ベーシックケミカル改訂版　ワークブック 美容師国家試験筆記過去問題集
評価の方法や基準	提出物30%　章テスト30%　期末試験40%の総合で評価する
実務経験のある教員による授業科目の場合、 右欄に〇を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する	〇
実務経験	美容師歴１４年。養成施設教員歴11年。 美容技術理論・実習教員資格認定試験修了。
実務経験の活かし方	サロンでの実際を交えながら美容理論を理解させる
履修上の注意事項	予習・復習を心がけ、配布プリントやノートはいつでも出せるようにする。 持参物：美容技術理論教科書　筆記用具

令和５年度　シラバス

授業科目	文化論	単位／時間	22時間
開講学科等	美容総合学科2年	担当教員	山崎　紀代
授業の目的・テーマ	ファッションの歴史をまとめながら流れを理解する　国試対策授業		
授業の到達目標	美容に不可欠なファッション感覚を身につけ。表現できる		

授業の計画				
	1	4/13 1920年代まとめ	26	
	2	4/20　1930年代まとめ	27	
	3	4/27　1940年代まとめ	28	
	4	5/11　1950年代まとめ	29	
	5	5/18　1960年代まとめ	30	
	6	5/25 1970年代まとめ	31	
	7	6/1　1980年代まとめ	32	
	8	6/8　1990年代、2000年代まとめ	33	
	9		34	
	10		35	
	11		36	
	12		37	
	13		38	
	14		39	
	15		40	
	16		41	
	17		42	
	18		43	
	19		44	
	20		45	
	21		46	
	22		47	
	23		48	
	24		49	
	25		50	

授業の方法	教科書の基づきそれぞれの時代のイメージボード作り
テキスト/参考文献	DVD　ネットなどの中からの写真や動画を使用
評価の方法や基準	レポート提出　授業態度　テスト
実務経験のある教員による授業科目の場合、 右欄に〇を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する	
実務経験	美術教員資格・美容師・花嫁着付け・ブライダル・ファッションショー
実務経験の活かし方	ファッションの歴史や・通過儀礼に携わりながら日本の文化を教えて行くことができます
履修上の注意事項	映像や写真、絵画など沢山の資料に目を通す事をさせるようにする

令和５年度　シラバス

授業科目	ビジネスマナー	単位／時間	30ｈ
開講学科等	美容総合学科　２年	担当教員	西村侑剛
授業の目的・テーマ	就職先で必要とされ輝く人材になる		
授業の到達目標	マナーを身につけサービス力、コミュニケーション力を上げ個人の魅力UPに繋げる		

授業の計画				
	1	5/8　スピーチ	26	来客対応
	2	スピーチ	27	12/14　クレーム対応
	3	5/15　電話対応 名指し人在籍	28	来客対応 ロールプレイ
	4	5/22　電話対応 名指し人不在	29	1/11　来客対応 ロールプレイ
	5	5/29　電話対応 伝言メモ	30	来客対応 ロールプレイ
	6	6/5　電話対応 道案内	31	
	7	6/13　電話対応 クレーム対応	32	
	8	6/20　電話対応 ロールプレイ	33	
	9	6/27　電話対応 ロールプレイ	34	
	10	7/4　電話対応 ロールプレイ	35	
	11	7/11　電話対応 テスト	36	
	12	7/18　電話対応 テスト	37	
	13	10/12 スピーチ	38	
	14	スピーチ	39	
	15	10/19 名刺交換	40	
	16	席次	41	
	17	10/26 冠婚葬祭	42	
	18	お茶の入れ方	43	
	19	11/2　まとめテスト	44	
	20	コミュニケーション基本	45	
	21	11/9　コミュニケーション基本	46	
	22	コミュニケーション基本	47	
	23	11/16 コミュニケーション基本	48	
	24	来客対応	49	
	25	11/30 来客対応	50	

授業の方法	座学、ロールプレイング
テキスト/参考文献	実践ビジネスマナー
評価の方法や基準	身だしなみ25%　授業態度,コミュニケーション50%　試験25%
実務経験のある教員による授業科目の場合、 右欄に〇を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する	〇
実務経験	ビジネスマナー講師 企業研修講師 サービス業 コーチング コミュニケーション講師 ナレーター 自営業
実務経験の活かし方	魅せ方や声の指導、本音を引き出し考えてもらい自発的意思を育む サービス、価値の提供について実体験を伝える
履修上の注意事項	マナー、コミュニケーションは想像力を使い積極的に取り組む ビジネススーツは指定の期間着用

令和 5 年度 シラバス

授業科目	美容総合技術（ヘッドスパ）	単位／時間	60
開講学科等	美容総合学科2年	担当教員	濵田　孝映
授業の目的・テーマ	美容サロンでのスパニストの需要が増加し、リラクゼーション技術も進歩している事から、外面と内面の美しさを引き出せるヘッドスパ技術と知識を身につける。		
授業の到達目標	ヘッドからデコルテまでのマッサージ技術を身につける。		

授業の計画				
	1	A　ヘッドスパ理論・マッサージ・バックシャンプー技術実習	26	
	2	相モデル　ヘッドスパ/バックシャンプー実習（手順確認）	27	
	3	相モデル　ヘッドスパ/バックシャンプー実習（動作確認）	28	
	4	〃	29	
	5	〃	30	
	6	テスト（実習）	31	
	7	B　ヘッドスパ理論・マッサージ・バックシャンプー技術実習	32	
	8	相モデル　ヘッドスパ/バックシャンプー実習（手順確認）	33	
	9	相モデル　ヘッドスパ/バックシャンプー実習（手順確認）	34	
	10	相モデル　ヘッドスパ/バックシャンプー実習（動作確認）	35	
	11	相モデル　ヘッドスパ/バックシャンプー実習（動作確認）	36	
	12	〃	37	
	13	〃	38	
	14	テスト（実習）	39	
	15	テスト（実習）	40	
	16		41	
	17		42	
	18		43	
	19		44	
	20		45	
	21		46	
	22		47	
	23		48	
	24		49	
	25		50	

授業の方法	モニター、プリント等を使用し、講義と実習。
テキスト/参考文献	美容実習１　美容技術理論１　TOMOTOMO
評価の方法や基準	テスト結果100％で評価する
実務経験のある教員による授業科目の場合、 右欄に〇を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する	〇
実務経験	美容師歴１４年。養成施設教員歴11年。 美容技術理論・実習教員資格認定試験修了。
実務経験の活かし方	サロンでの実際を交えながらマッサージ技術の理解度を深める
履修上の注意事項	持参物：美容実習１　配布プリント　筆記用具　ヘアケア用品

令和　5年度 シラバス

授業科目	アイラッシュ	単位／時間	33h
開講学科等	美容総合学科2年	担当教員	光富　千尋
授業の目的・テーマ	アイラッシュの知識を正しく理解し、安全な施術ができるようにする		
授業の到達目標	アイラッシュの基礎知識、安全な施術ができるよう技術の習得を目指します！		

授業の計画				
	1	（学科）まつ毛エクステの歴史、商材学等テキストでの学科	26	〃
	2		27	〃
	3		28	（相モデル）ミックス装着20秒／1本
	4	(学科)ワゴンセッティング(マネキン)テープワークについて、プレオフプレケアについて	29	〃
	5		30	〃
	6		31	確認テスト(学科、実技)
	7	（マネキン）ツイザーワーク3Dラッシュで練習、（相モデル）テープワーク・プレオフケア、ツイザーワーク仕分けと装着	32	〃
	8		33	〃
	9		34	
	10	(相モデル)基礎練習	35	
	11	〃	36	
	12	〃	37	
	13	(相モデル)装着練習	38	
	14	〃	39	
	15	〃	40	
	16	(相モデル)装着練習	41	
	17	〃	42	
	18	〃	43	
	19	(相モデル)浮き絡み向きを意識して装着する	44	
	20	〃	45	
	21	〃	46	
	22	(相モデル)タイムを意識して装着する	47	
	23	〃	48	
	24	〃	49	
	25	（相モデル）1時間タイムトライアル	50	

授業の方法	テキストでの基礎知識、マネキン・相モデルで技術の習得
テキスト/参考文献	
評価の方法や基準	
実務経験のある教員による授業科目の場合、 右欄に〇を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する	
実務経験	
実務経験の活かし方	
履修上の注意事項	（準備物）はさみ、ごみ袋、エタノール、ポンプ、ベビー綿棒、精製水、コットン、フェイスタオル

令和5年度　シラバス

授業科目	ヘアデザイン（カラー）	単位／時間	3単位/33時間
開講学科等	美容科2年生	担当教員	前田　誠一
授業の目的・テーマ	サロンワークに活かせるヘアカラー基礎技術		
授業の到達目標	ヘアカラー総合テクニックの習得		

授業の計画				
	1	ホイルワークテクニック（トレクリ）	26	
	2	ブリーチ塗布スキルＵＰ（ｐｗ）	27	
	3	酸性カラー塗布テクニック（マニキュア）	28	
	4	多色デザイン塗布テクニック	29	
	5	グレイカラー塗布テクニック（トレクリ）	30	
	6	グレイカラー塗布テクニック（モデル）	31	
	7	ポイントカラーテクニック（モデル）	32	
	8		33	
	9		34	
	10		35	
	11		36	
	12		37	
	13		38	
	14		39	
	15		40	
	16		41	
	17		42	
	18		43	
	19		44	
	20		45	
	21		46	
	22		47	
	23		48	
	24		49	
	25		50	

授業の方法	実技/理論
テキスト/参考文献	
評価の方法や基準	授業態度/試験
実務経験のある教員による授業科目の場合、 右欄に〇を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する	
実務経験	美容師歴20年/サロン経営/ヘアカラリスト/ボンニーヘアカラー教育部長/ルベル（タカラベルモント）外部インストラクター/ナプラ外部インストラクター/ミルボン外部インストラクター等
実務経験の活かし方	現場に活かせる実践を用いた知識と技術の習得
履修上の注意事項	プロフェッショナルを目指すという自覚を持って取り組んでほしい

令和　5年度 シラバス

授業科目	美容総合技術ヘアデザイン（カット）	単位／時間	12
開講学科等	美容総合学科	担当教員	久川（RT）
授業の目的・テーマ	グラデーションボブの切り方を通じてカット技術の向上並びに国家試験に対応できる能力をつける		
授業の到達目標	グラデーションボブの切り方の理解、規定時間内に規定のスタイルを切れる力をつける		

授業の計画				
	1	グラデーションボブのブロッキング方法	26	
	2	左右対称に切る方法	27	
	3	ガイドラインの作り方、繋げ方	28	
	4	ブロックごとのパネルの角度	29	
	5	グラデーションの付け方	30	
	6	バックとサイドの繋げ方	31	
	7	トップやバングを作る際の注意点	32	
	8	クロスチェックの方法	33	
	9	見た目を良くする仕上げ時の方法	34	
	10		35	
	11		36	
	12		37	
	13		38	
	14		39	
	15		40	
	16		41	
	17		42	
	18		43	
	19		44	
	20		45	
	21		46	
	22		47	
	23		48	
	24		49	
	25		50	

授業の方法	講師による展示→項目ごとに生徒に実践してもらう→間に入って指導→（繰り返し）→タイムに入るようにカット
テキスト/参考文献	グラデーションボブの切り方、規定について記載された資料または教科書
評価の方法や基準	指導した内容に沿って着実に取り組めているか、規定時間内でのスタイル完成に近づけているか
実務経験のある教員による授業科目の場合、 右欄に〇を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する	〇
実務経験	美容室で美容業務全般に従事
実務経験の活かし方	普段の業務でのノウハウを交えながらの指導
履修上の注意事項	カット用具一式、タイマー、怪我をしないように注意

令和　5年度 シラバス

授業科目	美容総合技術（ヘアデザイン）	単位／時間	44ｈ
開講学科等	美容総合学科2年（スタイリストコース）	担当教員	大川　倫史
授業の目的・テーマ	ヘアデザインをイメージした作品を時間内に仕上げる事が出来る。		
授業の到達目標	コンテスト入賞を目指す。		

授業の計画				
	1	ヘアデザインの考え方	26	
	2	〃	27	
	3	ヘアデザインの落とし込み	28	
	4	〃	29	
	5	〃	30	
	6	カット・カラー	31	
	7	〃	32	
	8	〃	33	
	9	〃	34	
	10	デザインカット	35	
	11	カット・カラー	36	
	12		37	
	13		38	
	14		39	
	15		40	
	16		41	
	17		42	
	18		43	
	19		44	
	20		45	
	21		46	
	22		47	
	23		48	
	24		49	
	25		50	

授業の方法	ウィッグ、資料での落とし込み
テキスト/参考文献	
評価の方法や基準	授業態度・仕上がり
実務経験のある教員による授業科目の場合、 右欄に〇を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する	
実務経験	ZERO経営（美容室）
実務経験の活かし方	ヘアデザインを通して、コンテスト＆サロンワークに活かす
履修上の注意事項	持ち物、カット・カラー道具一式、カールアイロン、ストレートアイロン、ドライヤー

令和 5 年度 シラバス

授業科目	美容総合技術ヘアデザイン	単位／時間	16時間
開講学科等	美容総合学2年生スタイリストコース	担当教員	堤
授業の目的・テーマ	ウィッグによるデザイン技術・理論		
授業の到達目標	昨年作品作りを基としたデザインのクオリティアップ		

授業の計画				
	1	スタイルワーク①（ウィッグカット）	26	
	2	スタイルワーク②（ウィッグカラー）	27	
	3	スタイルワーク③（ウィッグメイク）	28	
	4	作品撮り	29	
	5	作品撮り	30	
	6		31	
	7		32	
	8		33	
	9		34	
	10		35	
	11		36	
	12		37	
	13		38	
	14		39	
	15		40	
	16		41	
	17		42	
	18		43	
	19		44	
	20		45	
	21		46	
	22		47	
	23		48	
	24		49	
	25		50	

授業の方法	
テキスト/参考文献	インスタグラム
評価の方法や基準	授業態度・仕上がり
実務経験のある教員による授業科目の場合、 右欄に〇を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する	
実務経験	現役トップスタイリストとして株式会社トーリに勤務
実務経験の活かし方	生徒の年代に合わせた顧客ニーズをつかむスタイルづくり
履修上の注意事項	持参物・カット道具一式、カールアイロン、ストレートアイロン ドライヤー、スマートフォン

令和５年度　シラバス

授業科目	美容総合技術　ヘアセット	単位／時間	36時間
開講学科等	美容総合学科　2年	担当教員	山崎　紀代
授業の目的･テーマ	美容師として伝統的日本のスタイル日本髪など追求し、知識・テクニックを学ぶ		
授業の到達目標	**顔立ちに合わせてのヘアスタイルを可能にし、美しい所作も身につける**		

授業の計画	1	10/18　アップスタイル1	26	
	2	10/25　アップスタイル2	27	
	3	11/1　アップスタイル3	28	
	4	11/8　日本髪1	29	
	5	11/15　日本髪2	30	
	6	11/22　日本髪3	31	
	7	11/29　テスト	32	
	8	12/6　ヘアアレンジ1	33	
	9	12/13　ヘアアレンジ2	34	
	10		35	
	11		36	
	12		37	
	13		38	
	14		39	
	15		40	
	16		41	
	17		42	
	18		43	
	19		44	
	20		45	
	21		46	
	22		47	
	23		48	
	24		49	
	25		50	

授業の方法	実技　モデルウイッグを使って完成させる
テキスト/参考文献	
評価の方法や基準	授業態度、実技テスト、理論テスト
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に〇を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する	〇
実務経験	メイクアップアーティストとしての事務所所属・美容師としてサロンワーク、ブライダル　講師活動
実務経験の活かし方	メイクアップアーティストとしての事務所所属・美容師としてサロンワーク、ブライダル　講師活動
履修上の注意事項	道具を管理し衛生面に気をつけるためアルコール消毒を用意する

令和5年度　シラバス

授業科目	総合技術ネイルアドバンス	単位／時間	213ｈ
開講学科等	美容総合学科２年生ネイルコース	担当教員	矢野 愛 久川　理香
授業の目的・テーマ	ネイリスト技能検定とジェルネイル技能検定の上位検定合格を目指したカリキュラムとサロンワークで必要となるマシーンテクニック及び最新のネイルアートを学ぶ。		
授業の到達目標	ネイリスト技能検定２級・１級の技術と理論の習得 ジェルネイル技能検定中級・上級の技術と理論の習得 サロンワークで生かせるマシーンテクニックとジェルアート		

授業の計画				
	1	4/13Y二級検定対策	26	
	2	4/19H教材チェック4/20Yミクスチャアボールの作り方	27	
	3	4/26Hミクスチャー自爪乗せ 4/27Y1級フォーム付け方アプリケーション	28	
	4	5/10H1級フォーム付け方・乗せ方5/11Y中級グラデーション・ﾌﾚﾝﾁ	29	
	5	5/17H1級フォーム付け方・乗せ方5/18Y1級スカルプチュア	30	
	6	5/24H1級スカルプチュア5/25H1級スカルプチュア	31	
	7	5/31H1級フォーム付け方・乗せ方6/1YY中級ジェルスカルプ	32	
	8	6/7H1級フォーム付け方・乗せ方6/8Y1級チップオーバーレイ	33	
	9	6/21Hチップオーバーレイ6/22Y中級通し	34	
	10	6/28Hスカルプ・オーバーレイ6/29H2級ケア	35	
	11	7/5Hスカルプ・オーバーレイ7/6中級通し	36	
	12	7/12H中級筆記対策7/13Y中級通し	37	
	13	7/20Hスカルプ・7/21Y中級検定対策	38	
	14	10/11Y1級スカルプチュア・チップオーバーレイ	39	
	15	10/18Y上級ｼﾞｪﾙｽｶﾙﾌﾟﾁｬｰ	40	
	16	10/25Y上級ｼﾞｪﾙﾁｯﾌﾟｵｰﾊﾞｰﾚｲ	41	
	17	11/1Y上級ｼﾞｪﾙｽｶﾙﾌﾟﾁｭｱ・ﾁｯﾌﾟｵｰﾊﾞｰﾚｲ	42	
	18	11/8Y上級ｼﾞｪﾙｽｶﾙﾌﾟﾁｬｰ・ﾁｯﾌﾟｵｰﾊﾞｰﾚｲ	43	
	19	11/15Y上級ｱｰﾄ・ﾌﾚﾝﾁ	44	
	20	11/22Y上級通し	45	
	21	11/29Yマシーンの使い方	46	
	22	12/6Y1級アート	47	
	23	12/13Y上級検定対策	48	
	24		49	
	25		50	

授業の方法	実習・講義
テキスト/参考文献	JNAテクニカルシステムベーシック・JNAテクニカルシステムアドバイス JNAテクニカルシステムジェルネイル・ネイルキット
評価の方法や基準	筆記試験・授業態度・出席率・技能試験・繰り返しシートチェック
実務経験のある教員による授業科目の場合、 右欄に〇を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する	〇
実務経験	ネイルサロン経営・JNA本部認定講師
実務経験の活かし方	本部認定講師はネイリスト技能検定試験・ジェルネイル試験の試験官を行う事ができ、検定の重要なポイントや苦手項目に対する指導する事で合格率のアップを図る。また、サロン経営の経験を於いてジェルデザインアート力を付けさせる事が出来る
履修上の注意事項	

令和５年度　シラバス

授業科目	美容総合技術　メイクアドバンス	単位／時間	90時間
開講学科等	美容総合学科ビューティブライダルコース2年	担当教員	山崎　紀代
授業の目的・テーマ	ショー･コンテストに参加しながら想像力つける　デザインからのメイクアップの表現		
授業の到達目標	TPOにあわせてイメージメイクアップができる　コンテストやショーで結果を残す		

授業の計画				
	1	6/7　コンテスト対策１	26	
	2	6/14　コンテスト対策２	27	
	3	6/28　写真撮影	28	
	4	7/5　コンテスト対策３	29	
	5	7/12　コンテスト対策４	30	
	6	7/19　写真撮影　１	31	
	7	9/6　ショー対策１	32	
	8	9/13　ショー対策２	33	
	9	9/20　ショー対策３	34	
	10	9/27　写真撮影２	35	
	11	10/4　ショー対策４	36	
	12	10/11　写真撮影	37	
	13		38	
	14		39	
	15		40	
	16		41	
	17		42	
	18		43	
	19		44	
	20		45	
	21		46	
	22		47	
	23		48	
	24		49	
	25		50	

授業の方法	相モデル　コンテスト・ショーなどの作品つくり。
テキスト/参考文献	百日草　メイクブック
評価の方法や基準	実技テスト　授業態度　作品作りの取り組み
実務経験のある教員による授業科目の場合、 右欄に〇を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する	
実務経験	メイクアップアーティストとしての事務所所属・美容師としてサロンワーク、 ブライダル　講師活動　ショー・雑誌撮影など
実務経験の活かし方	メイクアップアーティストの仕事を理解してもらう
履修上の注意事項	メイクアップのみでなく衣装やアクセサリーなど用意し、全体のイメージを作る

令和５年度　シラバス

授業科目	美容総合技術　ヘアセット	単位／時間	36時間
開講学科等	美容総合学科　2年	担当教員	山崎　紀代
授業の目的･テーマ	美容師として伝統的日本のスタイル日本髪など追求し、知識・テクニックを学ぶ		
授業の到達目標	**顔立ちに合わせてのヘアスタイルを可能にし、美しい所作も身につける**		

授業の計画				
	1	10/18　アップスタイル1	26	
	2	10/25　アップスタイル2	27	
	3	11/1　アップスタイル3	28	
	4	11/8　日本髪1	29	
	5	11/15　日本髪2	30	
	6	11/22　日本髪3	31	
	7	11/29　テスト	32	
	8	12/6　ヘアアレンジ1	33	
	9	12/13　ヘアアレンジ2	34	
	10		35	
	11		36	
	12		37	
	13		38	
	14		39	
	15		40	
	16		41	
	17		42	
	18		43	
	19		44	
	20		45	
	21		46	
	22		47	
	23		48	
	24		49	
	25		50	

授業の方法	実技　モデルウイッグを使って完成させる	
テキスト/参考文献		
評価の方法や基準	授業態度、実技テスト、理論テスト	
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に〇を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する		〇
実務経験	メイクアップアーティストとしての事務所所属・美容師としてサロンワーク、ブライダル　講師活動	
実務経験の活かし方	メイクアップアーティストとしての事務所所属・美容師としてサロンワーク、ブライダル　講師活動	
履修上の注意事項	道具を管理し衛生面に気をつけるためアルコール消毒を用意する	

令和5年度　シラバス

授業科目	美容総合技術（フェイシャルエステ）	単位／時間	32時間
開講学科等	美容総合学科2年ビューティ・ブライダルコース	担当教員	久川　理香
授業の目的・テーマ	ハンド・エステ機器を使用したフェイシャルエステティック技術とホスピタリティーを習得する		
授業の到達目標	・ﾌｪｲｼｬﾙｸﾚﾝｼﾞﾝｸﾞ・ﾏｯｻｰｼﾞの目的を理解しハンドテクニックが出来る。 ・エステ機器をスムーズに扱う事が出来る。 ・お客様に対してのホスピタリティーを身に付ける		

授業の計画				
	1	5/11授業オリエンテーション。準備・片付け	26	
	2	5/18ポイントメイク落とし・拭き取り（コットン）	27	
	3	6/1クレンジング・拭き取り（タオル）	28	
	4	6/8マッサージ（軽擦法・つなぎ軽擦）	29	
	5	6/22マッサージ（強擦法・揉捻法）	30	
	6	7/6マッサージ（打法・振動法・圧迫法・ツボ・軽擦法）	31	
	7	7/13通し	32	
	8	7/20エステ機器（ブラシクレンジング）・掃除	33	
	9		34	
	10		35	
	11		36	
	12		37	
	13		38	
	14		39	
	15		40	
	16		41	
	17		42	
	18		43	
	19		44	
	20		45	
	21		46	
	22		47	
	23		48	
	24		49	
	25		50	

授業の方法	実習（相モデル）
テキスト/参考文献	日本エステティック協会　新エステティック学技術編Ⅰ
評価の方法や基準	実技チェック100
実務経験のある教員による授業科目の場合、 右欄に〇を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する	〇
実務経験	・トータルビューティ科エステ実技教員 ・滝川エステティック学院卒 ・認定エステティシャン資格
実務経験の活かし方	
履修上の注意事項	身だしなみ（爪・髪）チェック・片付けのチェック